

# 審査項目と審査基準

| 審査項目                          |  | 得点配分と審査基準   |   | 応募申請書における依頼事項   |  |
|-------------------------------|--|---|---|---|--|
| 大項目                           | 中項目                                      | 審査基準  |   |   |  |
| —                             | —  | —   |   | <p>2023年度採択された大学からの応募の場合は、以下のA、Bいずれかのパターンに当てはまるか、お選びください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当てはまるパターンに、チェックを入れて下さい。</li> <li>A 2023年度と同様の取組</li> <li>B 2023年度と異なる取組</li> </ul> <p>・Aに当てはまる場合は、以下の点を本申請書に記載してください。</p> <p>「1-2 本プログラム活用の目的」で、本年度も同様の取組を提案する理由</p> <p>「2. 寄付金活用の計画」で、本年度取り入れる工夫点や取り入れる理由</p>  |  |
| 1<br>本プログラム活用の目的              | 1-1<br>研究力等の現状と課題、本プログラム活用の位置づけ          | 申請大学等の研究力(特に基礎研究力)や次世代を担う研究者育成に関する現状認識と、課題に対する方針や取組状況が明確に示されており、それらの状況を受けた本プログラム活用の位置づけが明確であるか。   |   | <p>自大学の規模や研究力を前提としたうえで、大学の課題を分析・認識し、その課題に即した解決策や寄付金の活用方法を提案してください。既存の学内研究支援の体制やプログラムと連動させる場合には、既存プログラムの特徴と課題を示したうえで、本寄付金の既存プログラムにおける位置づけや関係性を示し、寄付金の活用によって期待される効果も明示してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貴学の研究力、特に基礎研究力に関して、現状と課題を記載してください。</li> <li>・次世代を担う研究者の育成に関して、現状と課題を記載してください。</li> <li>・基礎研究力の向上や次世代を担う研究者の育成に関して、上記の現状と課題、さらに全学の基本方針やこれまでの取組状況、科学研究費助成事業等の公的な研究費の活用状況等を踏まえ、本プログラム活用により期待する効果を記載してください。</li> </ul> <p>(※)基礎研究力の向上や次世代を担う研究者の育成に関してのこれまでの取組状況について、定量的な情報があればその情報も記載してください。</p> |  |
|                               | 1-2<br>本プログラム活用の目的                       | <p>本プログラム活用の目的が、1-1の記載内容および本プログラムの趣旨(幅広い分野の基礎研究者、特に次世代を担う研究者への支援)や特性(研究者直接ではなく研究マネジメントを対象に拠出する寄付金)に照らして妥当であるか。</p> <p>(※)個別の研究テーマ等に関する目的ではなく、研究力向上・研究者支援の観点からの目的を評価する。</p> <p>(※)「A 2023年度と同様の取組」に当てはまる場合は、本年度も同様の取組を提案する理由が明確であり、妥当であるかを考慮し評価する。</p> |   | <p>・1-1の記載内容および本プログラムの趣旨(幅広い分野の基礎研究者、特に次世代を担う研究者の支援)や特性(研究者直接ではなく研究マネジメントを対象に拠出する寄付金)を踏まえ、本プログラムに申請し、活用する目的を記載してください。</p> <p>(※)個別の研究テーマ等に関する目的ではなく、研究力向上・研究者支援の観点からの目的を記載ください。</p> <p>(※)「2023年度の採択提案との関係性」でAにチェックを入れた場合は本年度も同様の取組を提案する理由をご記載ください。</p>   |  |
| 2<br>寄付金活用の計画                 | —  | 「A 2023年度と同様の取組」に当てはまる場合は、本年度の提案で取り入れる工夫点や取り入れる理由が明確であり、妥当であるかを、その工夫点に触れられている項目において考慮し評価する。   |   | (※)「2023年度の採択提案との関係性」でAにチェックを入れた場合は、本年度の提案で取り入れる工夫点や取り入れる理由を、その工夫が含まれる項目で記載してください。  |  |
|                               | 2-1<br>寄付金配分の計画                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付金を配分する研究者の人数や金額などの、寄付金配分の計画が具体的であるか。</li> <li>・寄付金配分に係る活動経費を寄付金の使途として想定している場合、その想定理由や金額などが具体的であるか。</li> </ul>   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付金を受け取った後、それを配分する研究者の人数や金額などの計画の想定を記載してください。</li> <li>・研究者への配分以外に、例えば研究力向上のための組織的な取り組みや基盤整備などの経費等を寄付金から拠出することを想定している場合、その理由や金額などを記載してください。</li> </ul>  |  |
|                               | 2-2<br>配分プロセス・スケジュール                     | 研究者への寄付金の配分プロセス(募集・審査・配分等)やスケジュールが具体的であり、その中にプログラム活用の目的を達成するための工夫があるか。  |   | ・寄付金を受け取った後、それを配分する全体プロセス(例えば募集・審査・配分等)の全体像やスケジュールを記載してください。  |  |
|                               | 2-3<br>研究者に配分する寄付金の使途の想定                 | 各研究者に配分する寄付金の主な使途やその理由が、本プログラムの趣旨および1-2記載のプログラム活用の目的に合致しており、効果的であるか。  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究者に配分した寄付金について、その使途<sup>(※)</sup>として想定する主なものを、その理由と共に記載してください。</li> </ul> <p>(※)本プログラムの趣旨や科学研究費助成事業等の公的な研究費の活用状況等を踏まえ、研究者の活動を支援する使途の分類(例:研究交流のための海外渡航費、研究室の補助人員雇用費、書籍購入費、等)を記載ください。個人・個別の研究に紐づいた使途(例:○○研究の成果発表のための学会発表)は記載しないでください。</p>  |  |
| 3<br>寄付金活用のためのマネジメント体制や方法     | 3-1<br>配分先の選定のための体制や方法                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・配分先を選定・決定する体制が具体的であり、プログラム活用の目的を達成するための工夫があるか。</li> <li>・選定基準や考え方が、本プログラムの趣旨および1-2の記載のプログラム活用の目的に照らして、妥当であるか。</li> </ul>  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・配分先を選定し、最終的に決定する体制や方法を記載してください。選定基準や選定の際の考え方などが明確になっているようであれば、その背景と共に記載してください。</li> <li>・審査委員会等の会議体を設ける場合、その位置づけ・役割を記載してください。</li> </ul>  |  |
|                               | 3-2<br>学内における利益相反マネジメントのための体制や方法         | (1)利益相反マネジメントに関する学内の一般的な体制について  | 一般的な利益相反マネジメントの規定等についての情報が過不足なく記載されているか。  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利益相反マネジメントを担当する部署など、学内での体制を記載してください。</li> <li>・関連する規則・規程等、学内での取組方針を定めている文書があれば、その名称及び制定時期を記載してください。</li> </ul>   |
|                               |  | (2)学内にて本プログラムの審査を行う際の利益相反マネジメント体制について   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本プログラムの研究者への寄付金配分のプロセスにおいて、機関内で審査を行う際の利益相反マネジメントを行うための体制や方法が整っているか。</li> <li>・候補者と第一三共の利害関係の把握方法や対応方針についての記載が明確かつ妥当であるか。</li> <li>・申請時・審査時のみならず、寄付金受取後も含めた期間の利害関係の把握ができる方法になっているか。</li> </ul> |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付金配分のプロセスにおいて貴学内で審査を行う際、適切な利益相反マネジメントを行うためにどのような体制・方法で取組むかについて、その内容を記載してください。</li> <li>・配分候補者と第一三共の共同研究の有無等、利害関係<sup>(※)</sup>の把握方法や対応方針を記載してください。</li> </ul> <p>(※)申請時・審査時のみならず、寄付金受取後も含めた期間における利害関係を指します。</p> |
| 3-3<br>寄付金の使用状況や成果把握のための体制や方法 | 寄付金の使用状況や寄付金による成果の把握のための体制や方法が具体的かつ効率的か。 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付金の使用状況や成果の把握の体制や方法を記載してください。</li> </ul> <p>※寄付金を配分した後、その内容の報告をお願いしています。(詳細は応募要項を参照。)</p>  |   |  |
| 4<br>寄付金を配分する部門の関連実績          | 4-1<br>寄付金を配分する部門の関連実績                   | 本寄付金に類似する実績(学部・組織横断的な研究者支援を行った実績や、寄付金等の外部資金や学内資金を活用して研究者を支援した実績等)があるか。  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回申請を行い、寄付金を配分する部門を中心とした、学内の関連実績を記載してください。</li> <li>・関連実績とは、例えば学部・組織横断的な研究者支援、あるいは寄付金等の外部資金や学内資金を活用した研究者支援等の実績を指しますが、この限りではありません。</li> </ul>  |  |